患者向医薬品ガイド

2025年4月更新

ソル・コーテフ注射用１００ｍｇ

【この薬は？】

販売名	ソル・コーテフ注射用100mg Solu-Cortef Injection 100mg
一般名	ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム Hydrocortisone Sodium Succinate
含有量 (1バイアル中)	133.7mg (ヒドロコルチゾン相当量 100mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、副腎皮質ホルモン剤（ステロイド）と呼ばれるグループに属する注射薬です。

・この薬は、炎症やアレルギー症状を改善したり、免疫を抑制するなどさまざまな働きがあり、多くの病気に用いられます。ただし、病気の原因そのものを治す薬ではありません。

・次の目的で、医療機関で使用されます。

〈内科・小児科領域〉

○内分泌疾患

急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）、甲状腺中毒症〔甲状腺（中毒性）クリーゼ〕、慢性副腎皮質機能不全（原発性、続発性、下垂体性、医原性）、ＡＣＴＨ単独欠損症

○膠原病

リウマチ熱（リウマチ性心炎を含む）、エリテマトーデス（全身性及び慢性円

板状）
○アレルギー性疾患
気管支喘息、アナフィラキシーショック、喘息性気管支炎（小児喘息性気管支炎を含む）、薬剤その他の化学的物質によるアレルギー・中毒（薬疹、中毒疹を含む）、蕁麻疹（慢性例を除く）（重症例に限る）
○神経疾患
脳脊髄炎（脳炎、脊髄炎を含む）（但し、一次性脳炎の場合は頭蓋内圧亢進症状がみられ、かつ他剤で効果が不十分なときに短期間用いること）、重症筋無力症、多発性硬化症（視束脊髄炎を含む）、末梢神経炎（ギランバレー症候群を含む）、小舞踏病、顔面神経麻痺、脊髄蜘網膜炎、脊髄浮腫
○消化器疾患
限局性腸炎、潰瘍性大腸炎
○呼吸器疾患
びまん性間質性肺炎（肺線維症）（放射線肺臓炎を含む）
○重症感染症
重症感染症（化学療法と併用する）
○新陳代謝疾患
特発性低血糖症
○その他の内科的疾患
重症消耗性疾患の全身状態の改善（癌末期、スプルーを含む）、悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症）及び類似疾患（近縁疾患）、好酸性肉芽腫、乳癌の再発転移
〈外科領域〉
副腎摘除、臓器・組織移植、副腎皮質機能不全患者に対する外科的侵襲、侵襲後肺水腫、外科的ショック及び外科的ショック様状態、脳浮腫、輸血による副作用、気管支痙攣（術中）、手術後の腹膜癒着防止、蛇毒・昆虫毒（重症の虫さされを含む）
〈整形外科領域〉
関節リウマチ、若年性関節リウマチ（スチル病を含む）、リウマチ性多発筋痛、強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）、強直性脊椎炎（リウマチ性脊椎炎）に伴う四肢関節炎
〈泌尿器科領域〉
前立腺癌（他の療法が無効の場合）、陰茎硬結
〈眼科領域〉
眼科領域の術後炎症
〈皮膚科領域〉
湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、亜急性湿疹、慢性湿疹、接触皮膚炎、貨幣状湿疹、自家感作性皮膚炎、アトピー皮膚炎、乳・幼・小児湿疹、ビダール苔癬、その他の神経皮膚炎、脂漏性皮膚炎、進行性指掌角皮症、その他の手指の皮膚炎、陰部あるいは肛門湿疹、耳介及び外耳道の湿疹・皮膚炎、鼻前庭及び鼻翼周辺の湿疹・皮膚炎など）（但し、重症例以外は極力投与しないこと）、乾癬及び類症〔尋常性乾癬（重症例）、乾癬性関節炎、乾癬性紅皮症、膿疱性乾癬、稽留性肢端皮膚炎、疱疹状膿痂疹、ライター症候群〕、紅斑症（多形滲出性紅斑、結節性紅斑）（但し、多形滲出性紅斑の場合は重症例に限る）、ウェーバークリス

チャン病、粘膜皮膚眼症候群〔開口部びらん性外皮症、スチブンス・ジョンソン病、皮膚口内炎、フックス症候群、ベーチェット病（眼症状のない場合）、リップシュッツ急性陰門潰瘍〕、天疱瘡群（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、Ｓｅｎｅａｒ－Ｕｓｈｅｒ症候群、増殖性天疱瘡）、デューリング疱疹状皮膚炎（類天疱瘡、妊娠性疱疹を含む）、帯状疱疹（重症例に限る）、潰瘍性慢性膿皮症、紅皮症（ヘブラ紅色粃糠疹を含む）

〈耳鼻咽喉科領域〉

メニエル病及びメニエル症候群、急性感音性難聴、喉頭炎・喉頭浮腫、食道の炎症（腐蝕性食道炎、直達鏡使用後）及び食道拡張術後、アレルギー性鼻炎、花粉症（枯草熱）、嗅覚障害、難治性口内炎及び舌炎（局所療法で治癒しないもの）

〈口腔外科領域〉

口腔外科領域手術後の後療法

・次の病気の人に、自己注射のため処方されます。

急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）〔投与方法の詳細は巻末の自己注射ガイド（成人・小児）を参照〕

・この薬は、医療機関において、適切な在宅自己注射教育を受けた患者さんまたは家族の方は、自己注射できます。自己判断で量を加減せず、医師の指示に従ってください。なお、自己注射後は必ずかかりつけの医療機関を受診し、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）の治療を受けてください。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

・過去にソル・コーテフ注射用に含まれる成分で過敏症のあった人

・デスモプレシン酢酸塩水和物（ミニリンメルト）を夜間多尿による夜間頻尿に使用している男性

○次の部位には、この薬を使用することはできません。

・感染症のある関節腔内または腱周囲

・動揺関節の関節腔内

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

・感染症にかかっている人

・全身の真菌症にかかっている人

・消化性潰瘍、憩室炎の人

・精神病の人

・結核性疾患の人

・単純疱疹性角膜炎の人

・後嚢白内障の人

・緑内障の人

・高血圧症の人

・電解質異常のある人

・血栓症の人

・最近、内臓の手術を受けた人

・急性心筋梗塞をおこした人

・眼科で使用する場合、ウイルス性結膜・角膜疾患、結核性眼疾患、真菌性眼疾患および急性化膿性眼疾患のある人
・糖尿病の人
・骨粗鬆症の人
・うっ血性心不全の人
・甲状腺機能低下のある人
・脂肪肝、脂肪塞栓症の人
・重症筋無力症の人
・気管支喘息の人
・潰瘍性大腸炎（切迫穿孔、膿瘍、他の化膿性感染症の疑いがある場合）の人
・Ｂ型肝炎ウイルスキャリアの人
・腎不全の人
・肝硬変の人
・妊婦または妊娠している可能性のある人
・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

［併用してはいけない薬］

生ワクチンまたは弱毒生ワクチン（この薬を免疫抑制がおこる量で使用している場合）：乾燥弱毒生麻しんワクチン、乾燥弱毒生風しんワクチン、乾燥ＢＣＧワクチン等

デスモプレシン酢酸塩水和物（男性における夜間多尿による夜間頻尿に使用している場合）：ミニリンメルト

【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

〔医療機関で使用される場合〕

使用量、使用回数、使用方法等は、あなたの症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において注射されます。

通常、ヒドロコルチゾンとして成人の使用する量および回数は、次のとおりです。

注射・注入部位	一回量	使用回数	緊急時一回量
静脈内注射	５０～１００ｍｇ	１日１～４回	１００～２００ｍｇ
点滴静脈内注射	５０～１００ｍｇ	１日１～４回	１００～２００ｍｇ
筋肉内注射	５０～１００ｍｇ	１日１～４回	１００～２００ｍｇ
関節腔内注射	５～２５ｍｇ	投与間隔２週以上	-
軟組織内注射	１２．５～２５ｍｇ	投与間隔２週以上	-
硬膜外注射	１２．５～５０ｍｇ	投与間隔２週以上	-
腹腔内注入	４０ｍｇ	-	-
注腸	５０～１００ｍｇ	-	-
結膜下注射	２０～５０ｍｇ／ｍＬ溶液 ０．２～０．５ｍＬ	-	-
ネブライザー	１０～１５ｍｇ	１日１～３回	-
鼻腔内注入	１０～１５ｍｇ	１日１～３回	-

注射・注入部位	一回量	使用回数	緊急時一回量
喉頭・気管注入	１０～１５ｍｇ	１日１～３回	-
食道注入	２５ｍｇ	-	-

気管支喘息における静脈内注射または点滴静脈内注射の使用する量および回数は、以下のとおりです。

成人：ヒドロコルチゾンとして初回量１００～５００ｍｇ。その後、症状が改善しない場合には、５０～２００ｍｇを４～６時間ごとに追加。

２歳以上の小児：ヒドロコルチゾンとして初回量５～７ｍｇ／ｋｇ。その後、症状が改善しない場合には、５～７ｍｇ／ｋｇを６時間ごとに追加。

２歳未満の小児：ヒドロコルチゾンとして初回量５ｍｇ／ｋｇ。その後、症状が改善しない場合には、５ｍｇ／ｋｇを６～８時間ごとに追加。

〔急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）の際に自己注射する場合〕

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。詳細は巻末の自己注射ガイド（成人・小児）を参照してください。

回数は１回です。

●どのように使用するか？

筋肉内注射してください。詳細は巻末の自己注射ガイド（成人・小児）を参照してください。

自己注射後は、ただちに医療機関を受診してください。

使い終わった注射針やシリンジなどは、廃棄用容器（ない場合はビンや缶などの固い容器）に入れて医療機関に持参し、廃棄を依頼してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・この薬を連用した後、急に使用を中止すると、発熱、頭痛、食欲不振、脱力感、筋肉痛、関節痛、ショックなどがあらわれることがあります。中止する場合は徐々に減量されます。医師の指示どおりに使用してください。

・Ｂ型肝炎ウイルスキャリアの人は、この薬の使用中や使用終了後に継続して血液検査が行われます。Ｂ型肝炎ウイルスの増殖による肝炎（発熱、体がだるい、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、上腹部痛、皮膚や白目が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる）があらわれることがあるので、症状があらわれた場合には、速やかに医師に連絡してください。

・水痘（みずぼうそう）または麻疹（はしか）に感染すると、致命的な経過をたどることがあります。感染が疑われる場合はただちに受診してください。

・連用により眼圧亢進、緑内障、後嚢白内障になることがあるので、定期的に検査が行われることがあります。

・リンパ系腫瘍のある人は、この薬の使用中に腫瘍崩壊症候群（意識の低下、意識の消失、尿量が減る、息苦しい、息切れ）があらわれることがあるので、血液検査や腎機能検査が行われることがあります。

・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。

・授乳している人は医師に相談してください。

・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬

を使用する可能性があることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
感染症 かんせんしょう	発熱、寒気、体がだるい
続発性副腎皮質機能不全 ぞくはつせいふくじんひしつきのうふぜん	体がだるい、意識の低下、意識の消失、嘔吐、食欲不振、発熱、冷汗が出る、顔面蒼白、手足が冷たくなる
骨粗鬆症 こつそしょうしょう	骨折しやすい、腰・背中の痛み、手足の痛み、背が低くなった、背中が丸くなった
骨頭無菌性壊死 こっとうむきんせいえし	脚の付け根の痛み、膝からももへの痛み、腕の付け根の痛み
胃腸穿孔 いちょうせんこう	激しい腹痛、吐き気、嘔吐、寒気、発熱、ふらつき、息切れ、意識の低下
消化管出血 しょうかかんしゅっけつ	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色または黒褐色）、腹痛、便に血が混じる、黒い便が出る
消化性潰瘍 しょうかせいかいよう	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色）、腹痛、胃がむかむかする、黒い便が出る
ミオパチー	筋肉の痛み、筋肉のこわばり、筋力の低下、筋萎縮
血栓症 けっせんしょう	ふくらはぎの痛み・腫れ、手足のしびれ、鋭い胸の痛み、突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み、激しい頭痛、脱力、まひ、めまい、失神、目のかすみ、舌のもつれ、しゃべりにくい
頭蓋内圧亢進 とうがいないあつこうしん	けいれん、意識の低下、頭痛、嘔吐
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
精神変調 せいしんへんちょう	普段とは違う精神状態、幻覚、妄想、興奮抑うつ
うつ状態 うつじょうたい	気分がゆううつになる、悲観的になる、思考力の低下、不眠、食欲不振、体がだるい
糖尿病 とうにょうびょう	体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える
緑内障 りょくないしょう	目のかすみ、視力の低下、視野が欠けて狭くなる
後嚢白内障 こうのうはくないしょう	視力の低下、かすんで見える、まぶしい、眼鏡で視力

重大な副作用	主な自覚症状
	が出ない
気管支喘息 きかんしぜんそく	息をするときゼーゼー鳴る、息をするときヒューヒューと音がする、息苦しい
心破裂 しんはれつ	気を失う、胸の痛み
うっ血性心不全 うっけつせいしんふぜん	息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重が増える
食道炎 しょくどうえん	胸やけ、すっぱいものが上がってくる
カポジ肉腫 カポジにくしゅ	紫～褐色の消えないあざ、しこり、痛みを伴うあざ、しこり
腱断裂 けんだんれつ	アキレス腱の痛み、歩行障害、注射した指の関節を曲げにくい、注射した指の関節を伸ばしにくい、注射した指の関節が曲がらない
腫瘍崩壊症候群 しゅようほうかいしょうこうぐん	意識の低下、意識の消失、尿量が減る、息苦しい、息切れ

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、発熱、寒気、体がだるい、骨折しやすい、背が低くなった、ふらつき、脱力、まひ、けいれん、顔や手足の筋肉がぴくつく、体重が減る、疲れやすい、むくみ、体重が増える
頭部	めまい、意識の消失、意識の低下、激しい頭痛、失神、頭痛、一時的にボーっとする、普段とは違う精神状態、幻覚、妄想、興奮抑うつ、気分がゆううつになる、悲観的になる、思考力の低下、不眠、気を失う
顔面	顔面蒼白
眼	目のかすみ、視力の低下、視野が欠けて狭くなる、かすんで見える、まぶしい、眼鏡で視力が出ない
口や喉	嘔吐、吐き気、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色または黒褐色）、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色）、舌のもつれ、しゃべりにくい、喉が渇く、水を多く飲む、息をするときゼーゼー鳴る
胸部	息切れ、鋭い胸の痛み、突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み、息をするときヒューヒューと音がする、息苦しい、胸の痛み、胸やけ、すっぱいものが上がってくる
腹部	食欲不振、激しい腹痛、腹痛、胃がむかむかする
背中	腰・背中の痛み、背中が丸くなった
手・足	手足が冷たくなる、手足の痛み、脚の付け根の痛み、膝からももへの痛み、腕の付け根の痛み、ふくらはぎ

部位	自覚症状
	の痛み・腫れ、手足のしびれ、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、アキレス腱の痛み、歩行障害、注射した指の関節を曲げにくい、注射した指の関節を伸ばしにくい、注射した指の関節が曲がらない
皮膚	紫～褐色の消えないあざ、しこり、痛みを伴うあざ、しこり
筋肉	筋肉の痛み、筋肉のこわばり、筋力の低下、筋萎縮
便	便に血が混じる、黒い便が出る
尿	尿量が増える、尿量が減る

【この薬の形は？】

販売名	ソル・コーテフ注射用 100mg
性状	白色の粉末または塊で、添付溶解液で溶かした注射液は、無色または微黄色澄明
形状	バイアル　注射用水

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ソル・コーテフ注射用 100mg
有効成分	ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム
添加剤	無水リン酸一水素ナトリウム 無水リン酸二水素ナトリウム又はリン酸二水素ナトリウム一水和物 pH 調節剤

【その他】

●この薬の保管方法は？

・直射日光と湿気を避けて室温（１～３０℃）で保管してください。
・溶解後は速やかに使用してください。
・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

・絶対に他の人に渡してはいけません。

・余った場合は、処方した医療機関へ提出してください。

●廃棄方法は？

・期限切れの未使用品を含め、バイアル、注射針、シリンジ、アンプルなどは、医療機関に廃棄を依頼してください。家庭ごみ、一般廃棄物として廃棄しないでください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。

・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ファイザー株式会社
(https://www.pfizer.co.jp/pfizer/)
製品情報センター（患者さん・一般の方）
電話　　：０１２０－９６５－４８５
ＦＡＸ　：０３－３３７９－３０５３
受付時間：月～金　９時～１７時３０分
（土日祝祭日および弊社休業日を除く）

ソル・コーテフ®注射用100mg 自己注射ガイド（成人・小児）

監修：慶應義塾大学医学部 小児科学教室 准教授　石井 智弘先生

急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）は、急激な副腎皮質ホルモンの不足によって起こり、ショックなど生命を脅かす危険な状態になることがあります。
副腎皮質ホルモンを処方されている方で、下記の症状が１つでも現れたら、副腎クリーゼが疑われます。**救急車を呼ぶなど医療機関を受診する準備を進めるとともに、ソル・コーテフ®注射用100mgを速やかに筋肉内注射しましょう。**

- **全身の症状**　：いつもの内服薬を飲めない／ひどくぐったりする
- **消化器の症状**：くり返し吐き続ける／お腹が激しく痛む
- **神経の症状**　：意識がもうろうとする／けいれんする
- **循環器の症状**：脈拍が弱く、触れにくい／血圧がいつもより極端に低い

【用法・用量】

急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）発症時の１回の注射量については、年齢・体重により投与量が異なります。あらかじめ主治医に緊急時の投与量をご確認ください。

- 成人の場合、通常は１バイアル（100mg）です。
- 小児の場合、主治医の指示に従ってください（参考投与量：乳幼児25mg、学童50mg）。

【重要事項】

- 本剤は、急性副腎皮質機能不全（副腎クリーゼ）の際、緊急時に自己注射することのできる薬剤です。
- 本剤の筋肉内注射は緊急時の補助治療であり、医療機関での治療に代わるものではありません。本剤を自己注射した後は、直ちに医療機関を受診してください。
- 主治医の指導および注意事項を守り、正しい方法で筋肉内注射を行ってください。
- 本剤は、添付の注射用水を用いて、使用直前に溶解してください。また、溶解後は速やかにご使用ください。

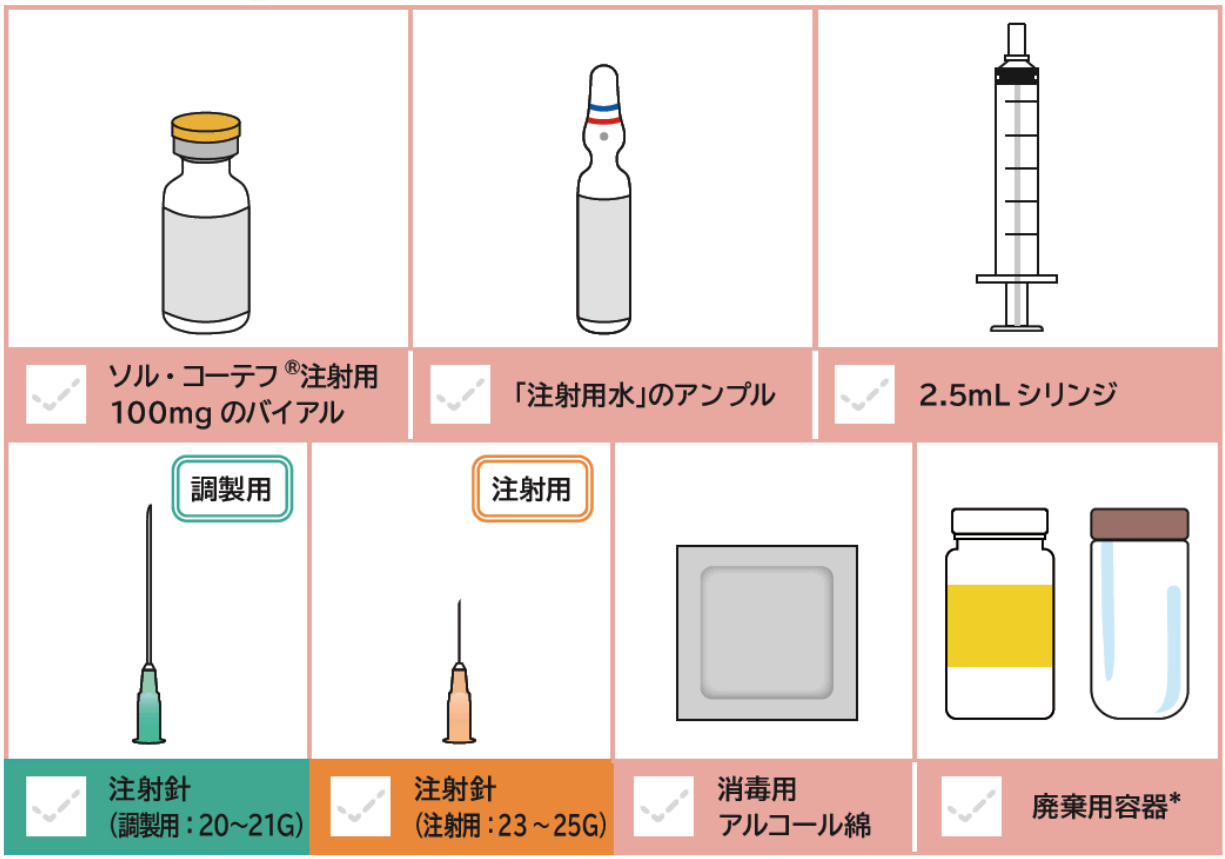
【保存・管理・廃棄方法】

- 室温で光を避けて保存してください。
- 本剤には使用期限があります。ラベルに表示されている使用期限をご確認ください。
使用期限が切れる前に、未使用の製品を持って医療機関を受診し、新しい製品の処方を受けてください。
- 期限切れの未使用品を含め、バイアル、注射針、シリンジ、アンプルなどは、家庭ごみ／一般廃棄物として廃棄せず、医療機関に廃棄をご依頼ください。

1. 準備するもの

※準備前に必ず手指を洗うか、または消毒してください。
※バイアルラベルに「ソル・コーテフ® 注射用 100mg」と記載されていることをご確認ください。
※使用期限をご確認ください。

チェックリスト

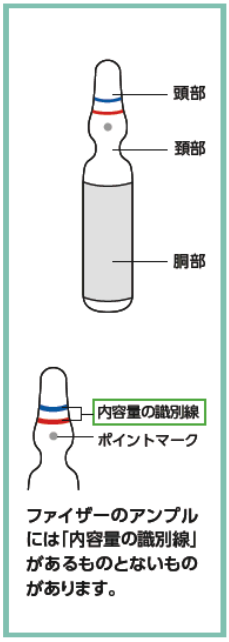


- ソル・コーテフ®注射用 100mg のバイアル
- 「注射用水」のアンプル
- 2.5mL シリンジ
- 注射針（調製用：20~21G）
- 注射針（注射用：23～25G）
- 消毒用アルコール綿
- 廃棄用容器*

＊廃棄用容器がない場合は、ビンや缶などの固い容器（インスタントコーヒーのガラス瓶など）でも代用できます。

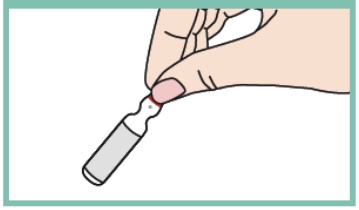
2.「注射用水」のアンプルカットの方法と注意

※手・指を傷つけないように十分ご注意ください。
※アンプルをカットした際、中にガラス片などの異物が混入していないか、目で確認し、異物の混入がある場合は使用しないでください。

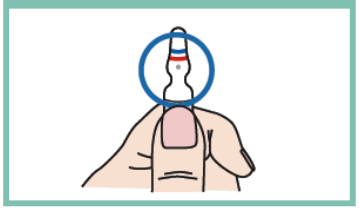


ファイザーのアンプルには「内容量の識別線」があるものとないものがあります。

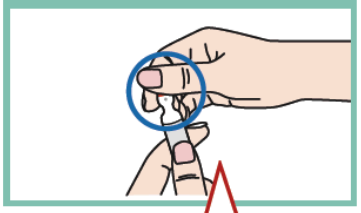
1 アンプル内の薬液が頭部に残っていないか確認



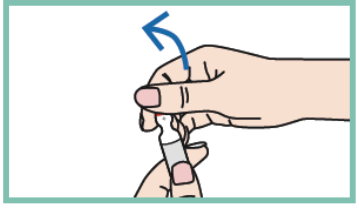
2 ポイントマークが手前に見えるようにアンプル胴部を持つ

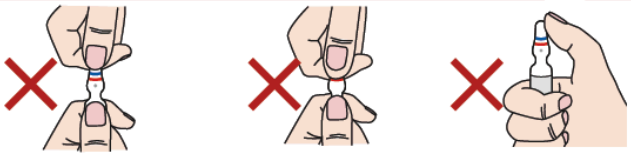


3 ポイントマークの少し上に、利き手の親指を置き、裏側は人差し指でしっかり支える



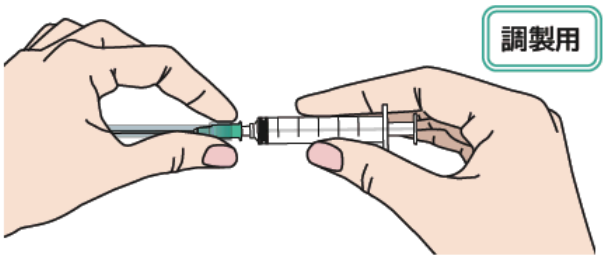
4 アンプル頭部をポイントマークと反対方向に押して折る



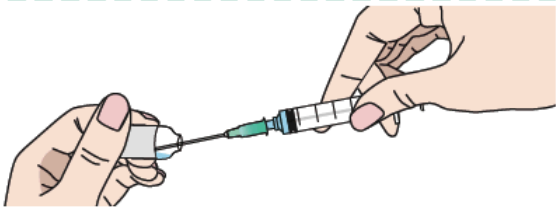


- ＊ポイントマークから離れた部分を持たない
- ＊ポイントマークを手前にしていない
- ＊両手で持たず、片手で開封しない

3. 溶解方法と注意



1 シリンジに注射針（調製用：20～21G）をセットする。

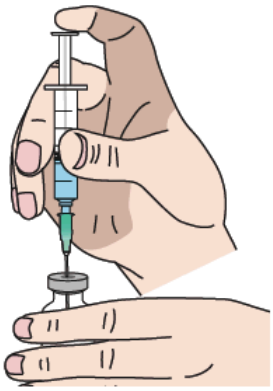


2 シリンジのピストンを引いて、注射用水を全量（2mL）吸う。

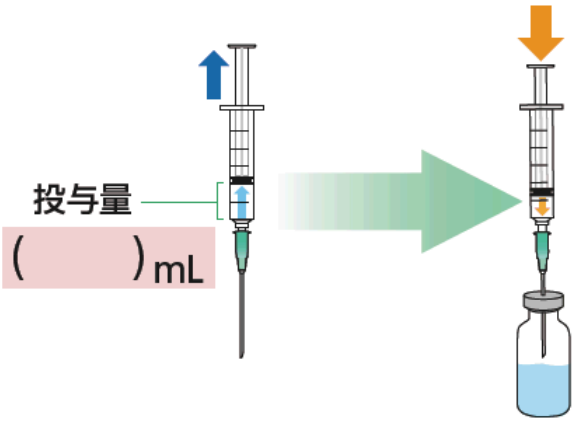
※針先やアンプルの切り口に指などが触れないようにご注意ください。

3 シリンジを上に向け、ピストンを軽く押して中の空気を抜く。

4 バイアルのキャップを外し、ゴム栓を消毒用アルコール綿で拭く。



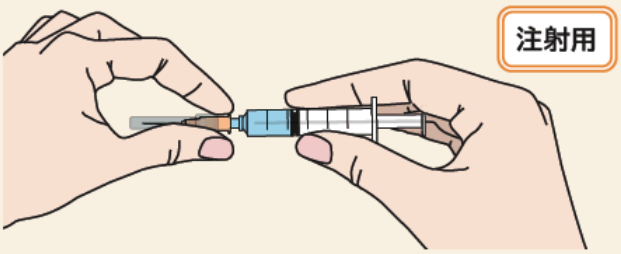
5 シリンジの注射針（調整用:20～21G）をバイアルのゴム栓の中央に刺し、注射用水を押し出した後、バイアルをゆっくりと回して、ソル・コーテフ®の粉が見えなくなるまで溶解させる。



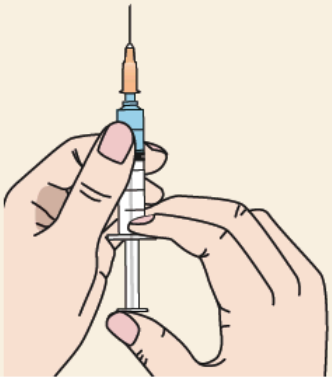
6 シリンジのピストンを投与量＊まで引いて空気を吸い、バイアルのゴム栓の中央にゆっくりと刺して、シリンジ内の空気をすべて入れる。

＊年齢・体重により投与量が異なります。あらかじめ主治医に緊急時の投与量をご確認ください。詳細は表面の【用法・用量】をご確認ください。

7 シリンジが上を向くようにバイアルごと倒立させて、針先が注射液に触れる角度でピストンを引き、注射液を投与量＊の目盛ちょうど、ないしは目盛より少し多めにシリンジ内に吸う。



8 シリンジの調製用注射針をはずし、注射用注射針（23～25G）に付け替える。



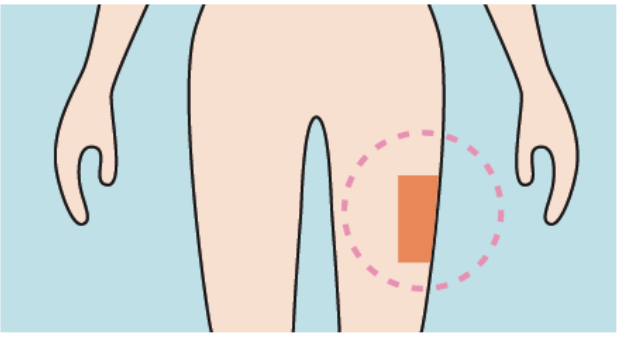
9 シリンジの針先を上に向けてピストンを軽く押して、シリンジおよび針先の中の空気を抜き、投与量の目盛に合わせる。

4. 自己注射方法と注意

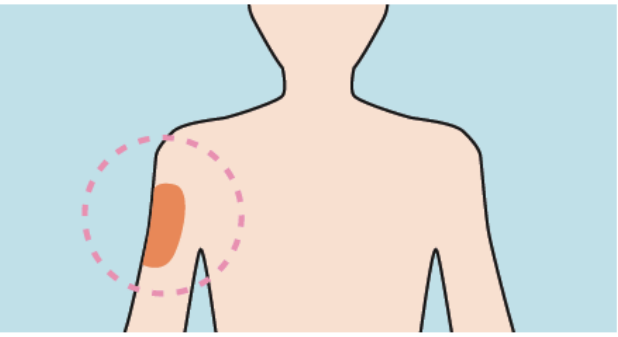
※関節や骨などの硬い組織から離れている部位に注射してください。あざ、赤くなっている部位や硬い、厚い部位、またはうろこ状になった皮膚には注射しないでください。傷痕（きずあと）または皮膚線条（肉割れ）がある皮膚にも注射しないでください。

1 注射部位（大腿中央部の外側または上腕三角筋部）の皮膚表面を消毒用アルコール綿で消毒する。

注射部位

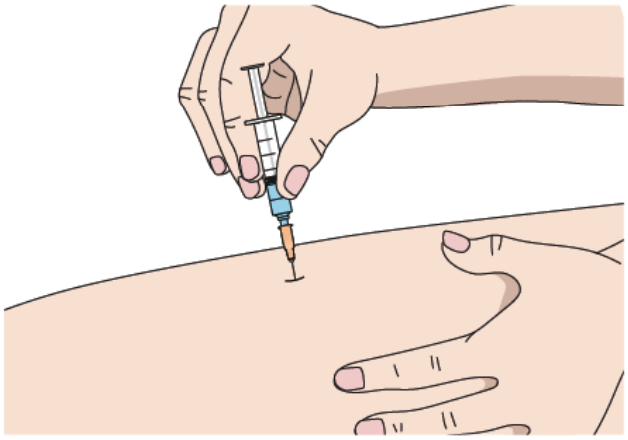


大腿中央部の外側



上腕三角筋部

＊上腕三角筋部に注射される場合は、ご家族など介助者の方にお願いします。



2 親指と人差し指で皮膚をピンと伸ばし、確実に注射針を皮膚に刺す。

＊注射針を刺す深さは、医師の指示に従ってください。
＊注射針を刺したとき、激痛があったり血液が逆流してきた場合は直ちに注射針を抜き、部位を変えて注射してください。

3 薬液が全て注入されるまでしっかりと押し出す。

4 注射針を抜き、廃棄用容器に入れる。

＊使い終わった注射針やシリンジなどは、廃棄用容器（ない場合はビンや缶などの固い容器）に入れて、医療機関に渡してください。
＊廃棄用容器は常にお子様の手の届かないところに保管してください。

5 注射した部位に数秒間、消毒用アルコール綿を強く押し当てる。

＊注射を行う際は、必ず医師の管理指導を受けた上で行ってください。
＊注射後は、直ちに医療機関を受診してください。

2022年3月作成
SCT57K001B

ファイザー株式会社

つたわるフォント
読みやすさを追求した書体